

5 職員の政策形成能力の向上 (資料)

5-1 政策形成入門講座「鎌 LAB.」 (資料)

鎌倉LAB. <かまラボ>

平成25年度 第1回 政策形成入門講座

「人生90年時代～持続可能なまちづくりに向けて～」

平成25年3月27日（水）の「IceBreak拡大版・政策創造シンポジウム」で好評を得た「長寿社会に対応したまちづくり」のアップ・グレードバージョンです。

政策創造担当では、職員の自主研修として、政策形成能力の向上に向けた学習機会を提供するため、IceBreak・政策形成入門講座を平成24年度から開催しています。

本市に関わるさまざまな課題について、現状や問題点を認識し、その解決方策を学びます。平成25年度の第1回は、政策創造担当職員の「長寿社会のまちづくり検討プロジェクトチーム」の自主研修会と合同で、本市の政策創造専門委員による高齢社会のまちづくりに関する講義を開催します。

通常の業務から少し離れて、新しい視点で「鎌倉市」を学んでみませんか。

日 時：平成25年4月25日（木）午後5時30分～午後7時

場 所：第四分庁舎822会議室

講 師：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

秋山 弘子 （鎌倉市政策創造専門委員）

申込み：参加を希望する職員は、Xドライブ：B政策創造担当：政策形成入門講座：政策形成入門講座申込みシートに、職場名、氏名、連絡先を記入してください。（希望者多数の場合は、抽選とします。）

※ 自主研修のため、時間外勤務対象外です。

※ 政策創造担当では、今年度も定期的に政策形成入門講座等の勉強会を開催する予定です。第2回目以降も、その時々々の注目すべきテーマに合った講座を開催していきます。

政策創造担当 内線 2792



鎌倉 LAB. <かまらぼ>

平成 25 年度 第 2 回 政策形成入門講座

「政策形成の糸口～課題解決へのアプローチ～」

自治体シンクタンク研究の第一人者で、平成 25 年度から本市の政策創造専門委員となっていたいただいた牧瀬稔氏による講座を開催いたします。

政策創造担当では、職員の自主研修として、政策形成能力の向上のための学習機会を提供するため、平成 24 年度から政策形成入門講座を開催しています。

本市が関わるさまざまな課題について、現状や問題点を認識し、先進都市の事例などから解決策を学びます。

平成 25 年度の第 2 回講座は、本市政策創造専門委員から自治体の政策形成について御講義いただきます。

鎌倉 LAB. <かまらぼ>は、学習の場であるとともに、職員の意識共有の場でもあります。業務終了後の自主研修ですが、若手・中堅・ベテランを問わず、職員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

日 時：平成 25 年 5 月 20 日（月）午後 5 時 30 分～午後 7 時

場 所：議会全員協議会室

講 師：一般財団法人 地域開発研究所 主任研究員

牧 瀬 稔（鎌倉市政策創造専門委員）

申込み：参加を希望する職員は、Xドライブ：B政策創造担当：政策形成入門講座：政策形成入門講座申込みシートに、職場名、氏名、連絡先を記入してください。（希望者多数の場合は、抽選とします。）

※ 自主研修のため、時間外勤務対象外です。

※ 政策創造担当では、今年度、8 回程度の政策形成入門講座等の勉強会を開催する予定です。今後も、その時々々の注目すべきテーマに合った講座を開催していきます。

政策創造担当 内線 2792



鎌 LAB. <かまラボ>

平成 25 年度 第 4 回 政策形成入門講座

「地域メディアを活用した魅力的なまちづくり」

「地域メディアを活用したまちづくり」でご活躍されている、NPO 法人「地域魅力」理事長の田中美乃里氏による講座を開催いたします。地域活性、安心安全、市民参加の 3 点を柱としたこれまでの活動事例を中心に、市との協働事業から見える課題や政策的視点についてお話頂きます。

政策創造担当では、職員の自主研修として、政策形成能力の向上のための学習機会を提供するため、平成 24 年度から政策形成入門講座を開催しています。

本市が関わるさまざまな課題について、現状や問題点を認識し、先進都市の事例などから解決策を学びます。

鎌 LAB. <かまラボ>は、学習の場であるとともに、職員の意識共有の場でもあります。業務終了後の自主研修ですが、若手・中堅・ベテランを問わず、職員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

日 時：平成 25 年 11 月 21 日（木）午後 6 時～午後 8 時

場 所：全員協議会室

講 師：特定非営利活動法人 地域魅力 理事長

田中 美乃里

申込み：参加を希望する職員は、Xドライブ：B政策創造担当：政策形成入門講座：政策形成入門講座申込みシートに、職場名、氏名、連絡先を記入してください。

※ 自主研修のため、時間外勤務対象外です。

※ 政策創造担当では、今年度、8 回程度の政策形成入門講座等の勉強会を開催する予定です。今後も、その時々注目すべきテーマに合った講座を開催していきます。

政策創造担当 内線 2792



鎌LAB. <かまラボ>

平成 25 年度 第 5 回 政策形成入門講座

「横浜・神奈川におけるオープンデータの推進」

政府や自治体が保有している公共データを公開し、企業などが二次利用することで新たな住民サービスの創出を進めるオープンデータ。国も積極的に推進に取り組み、自治体レベルでも全国的にも広がりを見せています。本市においてもオープンデータの推進に対する要望は様々な分野から寄せられており、その充実が急務となっています。

今回の<かまラボ>は、全国的にもオープンデータの推進に先進的に取り組んでいる横浜市から関口昌幸さんをお招きし、横浜市における事例紹介を通じて、オープンデータの可能性や今後の展開などについてのお話を伺います。

政策創造担当では、職員の自主研修として、政策形成能力の向上のための学習機会を提供するため、平成 24 年度から政策形成入門講座を開催しています。

本市が関わるさまざまな課題について、現状や問題点を認識し、先進都市の事例などから解決策を学びます。職員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

日 時：平成26年1月31日（金）午後6時～8時

場 所：402会議室

講 師：横浜市政策局政策部政策課担当係長

関口 昌幸

申込み：参加を希望する職員は、Xドライブ：B政策創造担当：政策形成入門講座：政策形成入門講座申込みシートに、職場名、氏名、連絡先を記入してください。

※ 自主研修のため、時間外勤務対象外です。

※ 政策創造担当では、その時々々の注目すべきテーマに合った講座を開催していきます。今後も、随時開催しますので、都度に応じ、ご参加をお願いします。

政策創造担当 内線 2792

5-2 庁内ニュース「Ice Break」 (資料)



Ice Break^{Vol.1}



『Ice Break』は政策創造担当が配信する情報誌です。
仕事の合間に、少しリラックス。いろんなことを『俯瞰』してみると仕事の幅が広がるの
では…そんな思いを込めて名付けました。

◆◆◆今月の目次◆◆◆

- ◆ 平成 25 年度政策創造担当の研究について
- ◆ 長寿社会のまちづくり
- ◆ 鎌LAB

今年の夏は、とっても暑かったですね。「猛暑日」、「熱中症」、この言葉を聞かない日はないほど・・・本当に暑いです。そこでどのくらい暑かったのかを気象庁のホームページで調べてみました。これまでの観測史上で、40度を超えたことのある観測地点は全国で18か所あるようで、その堂々1位が今年8月12日の高知県江川崎の41.0度でした。神奈川県内で40度を超えた記録はなく、鎌倉市に近い辻堂のデータをみると、過去最高の気温は2010年8月17日の36.7度で、この年はこの日を含め歴代ベスト10に3日間（9月4日：36.5度、8月18日：36.1度）が入っています。さて、今年かというと8月12日の35.2度が歴代7位として1日入っているのみです。しかし、「今年の暑さは特別！」と言われているということは、このデータからは読み取れないデータがあるのだと思います。今年の夏、私たちは、「ある事象の分析をするにあたっては、視点を変え様々な角度からみていくことが必要だ！」ということ、身を以て体験しているのだと思います。



さて、発行が遅れていた今年度第1号の『Ice Break』では、政策創造担当の今年度の研究概要、今泉台で取り組みを進めている「長寿社会のまちづくり」、政策形成能力養成講座「鎌LAB」についてご紹介します。



◆ 平成 25 年度政策創造担当の研究について

今年度は、「財政シミュレーションから見た鎌倉市の将来ビジョンの考察」、「観光客がもたらす経済効果調査」、「クリエイティブ産業支援策と経済効果調査」に新たに取り組んでいます。3つの調査研究ともにプロジェクトチームを設置しています。



財政シミュレーションから見た鎌倉市の将来ビジョンの考察

人口減少、少子高齢化が進行する自治体のまちづくりの方向性を考えるため、将来人口推計と連動させた歳入の見込と、少子高齢化の進展に伴う歳入の見込みをベースに、今後、20年間にわたる財政シミュレーションを行います。そして、少子高齢化社会における財政規模を明らかにするとともに、少子高齢化社会がもたらす種々の課題へ対応するための施策を提言します。

研究は2年間にわたって行い、初年度は、税収等歳入及び扶助費等歳入の変化予測を行うための財政シミュレーション、転入者の属性把握及び少子高齢化社会における市民意識の把握を行い、次年度に、少子高齢化社会の進行に伴う課題を整理し、市が行うべき施策を提言します。

プロジェクトチームは、経営企画課、行革推進課、財政課、納税課、市民税課、市民課、政策創造担当の職員により組織しています。

観光客がもたらす経済効果調査

鎌倉市に訪れる観光客の人数、属性、動向、消費行動等に関する基礎データを作成し、観光客の市内における消費等が本市の観光関連産業にもたらす経済効果について、産業連関分析の手法をもとに測定します。また、観光振興により地域にもたらされる社会効果について、メリット・デメリットに分類し、定性的に整理を行います。この調査結果は、今後の観光施策の基礎資料として活用するとともに、「観光産業」の重要性を客観的に示すことで、市民・観光客がともに快適な時間を共有することができる、鎌倉をそんなまちにしたいと考えています。

クリエイティブ産業支援策と経済効果調査

本市では、近年、IT産業の集積が進み、米国のシリコンバレーになぞらえ「カマコンバレー」と称して注目されています。本市に拠点を置くITを含む情報通信業は増加傾向（平成18年60事業所→平成24年124事業所）にあり、本市にとって新たな雇用創出の場として期待されていますが、オフィスが少ない等の理由で鎌倉市への進出を躊躇したり、成長した企業が他市に新たなオフィスを求め撤退してしまう事例も散見されています。このため、IT関連事業者の今後の動向を見極めたうえで、市としての対応策の検討、特に新規参入企業だけでなく、地場産業の事業者もメリットを感じられ、地域活性化が進行する様な新たな産業（クリエイティブ産業）の可能性とその将来効果について調査を行います。

②、③のプロジェクトチームは、副主査研修のメンバーを中心に、公募に応じた職員が加わり検討を進めています。

3つのチームには、学識を持つアドバイザーが付き、研究方法等の指導をいただいています。

■8月12日に市長・副市長との意見交換を行いました！■

それぞれのプロジェクトチームのこれまでの検討状況や研究方法、今後の進め方について、市長・副市長と意見交換を行いました。はじめにチームの代表者が20分間のプレゼンテーションを行った後、質疑・意見交換を行いました。市長からは、「3つのテーマともに鎌倉市の未来にとって非常に重要なテーマ。成果に期待している。」、瀧澤副市長からは、「10年後、研究の成果が開花していることに期待している。」、大谷副市長からは、「時間とマンパワーが限られる中、効率的に政策づくりをしていくことが必要で、今回の研究を通じて手法を学んでもらいたい。」といった、期待の言葉をいただきました。

3つの異なるテーマのプロジェクトですが、それぞれ互いに関連しあっているようにも感じられます。さらに、研究を進め、今後の市政運営に役立つよう、成果をまとめていきたいと考えています。



◆ 長寿社会のまちづくり

昨年度に引き続き、高齢化の著しい今泉台住宅地をフィールドに、超高齢社会が抱える地域の課題をコミュニティの力により解決するモデル構築に取り組んでいます。これまでの取組の一つの成果として、本年4月に、企業（株式会社リクシル）の協力により、商店街の空き店舗を活用したコミュニティスペース「みらいずみ工房」がオープンしました。今泉台の未来を考えるとということで「みらいずみ工房」と命名されたスペースには、横浜国立大学の学生が制作した今泉台住宅地の模型（1/1,000）や住民の方々から提供していただいた昔の写真が展示され、まちづくりの拠点にふさわしいしつらえが整いつつあります。

今泉台町内会のイベント時（文化祭、夏祭り）には、多くの住民が訪れ、まちの歴史や思い出、そ



して未来について語り合う姿が見られました。

「みらいずみ工房」では、横浜国立大学が中心となり、まちづくりに関する語らいの場「まちづくりサロン」、まちづくりについて学ぶ「まちづくりセミナー」、まちづくりをみんなで考える「まちづくりワークショップ」を定期的で開催しています。市民を中心に関係者みんなで創る、未来のまちづくりの現場があります。職員の皆さんもぜひ、のぞいてみて下さい。近くには散在ヶ池森林公園や天園ハイキングコースの豊かな緑もあり、森林浴もバッチリ。心身のリフレッシュに最適ですよ。※今泉台の「隠れた名品？」情報については政策創造担当へ、そっとお問い合わせください（笑）。



【今後の予定】

「みらいサロン」9月12日（木）、9月26日（木）、10月10日（木） 毎回18時30分～
「みらいワークショップ・空き家、空き地、空部屋を活用しよう」9月21日（土）13時～15時
場所：「みらいずみ工房」（鎌倉市今泉台4-13-13）

■ニューモビリティコンセプト試乗会の開催■

8月3日、4日の夏祭りにあわせ、日産自動車株式会社の協力を得て、ニューモビリティコンセプト（以下「NMC」）の試乗会を行いました。幅約1m23cm、全長約2m34cmで縦に2人乗りのNMCは、人力車とほぼ同じ大きさだそうです。



明月谷戸の狭い道もすれ違いが苦にならず、急な坂道もしっかりと登る頼もしい乗り物でした。試乗した方々からは「高齢になり車の運転はしていないが、これなら運転できる」、「ゴルフ場のカートの様で倒れたりしないか心配だ」、「道が細く、坂の多い鎌倉に合った乗り物」などの意見をいただきました。新たな乗り物が鎌倉のまちづくりにどう関わることができるのか…今後も企業の方々の協力を得ながら考える機会を設けていきたいと思っています。

➡鎌LAB.

職員の政策形成能力向上のための自主研修講座「鎌LAB. <かまラボ>」を開催しています。第1回目は「人生90年時代～持続可能なまちづくりに向けて」と題し、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授で本市の政策創造専門委員の秋山弘子氏に、第2回目・3回目は一般財団法人地域開発研究所主任研究員で本市の政策創造専門委員の牧瀬稔氏より、それぞれ「政策形成の糸口～課題解決へのアプローチ」、「SWOT分析で鎌倉戦略を考えよう」をテーマにお話をいただきました。

「人生90年時代～持続可能なまちづくりに向けて」では、長寿社会の人生設計、高齢期の可能性、加齢による自立度の変化についての説明、超高齢社会の課題と可能性についてなどの話がありました。また、10年前と比べると今の高齢者は男女共に11歳若返っているといった非常に興味深い話がありました。

「政策形成の糸口～課題解決へのアプローチ」では、「政策の意味」「政策形成の糸口」「人口増加の先進的な事例」についての話がありました。



課題解決には

- ①様々な視点を持って考えること。複眼思考が大切である。
- ②通説に疑いの視点を持って考えること。疑うことで新たな視点が開けてくる。
- ③数字には必ず背景があると考えること。数字の持つ意味を考える。数字の規則性に着目する。

ことが必要とのことでした。

これまで、私たちはこの様な視点でしっかり整理することができていたでしょうか。

さて、ここで問題ですが、左図の3本の線で仕切られている部分の角度は何度だと思いませんか。

360度÷3=120度 正解です！

でも正解は一つではありません。立方体の角として考えると90度、正三角錐を上から見たものとして考えると60度、三角錐であれば何度でも良い…と答えはたくさんあるという話がありました。これが複眼思考であり、疑うことで新たな視点が開けるといことだそうです。新しい気づきがたくさんあった研修でした。

「SWOT分析で鎌倉戦略を考えよう」では、「強み=Strength」、「弱み=Weakness」、「機会=Opportunity」、「脅威=Threat」の4つの要素を整理・分析し、「優位点」や「問題点」を明らかにして経営戦略を策定していく手法を学びました。

この回では、<かまラボ>初の「事前課題」、いわゆる「宿題」が出ました！（ガーン！）。課題は、SWOT分析に先立って、より効果的に研修を進めるため、鎌倉市の持つ「強み」、「弱み」、「機会（チャンス）」、「脅威（ピンチ）」について、参加者が事前に調査して持ち寄り、というもので、みなさんしっかりと準備して研修に臨んでくださいました（さすが！）。もちろん、政策創造担当の職員も宿題ちゃんとやりましたよー！。

当日は、牧瀬専門委員から分析手法のポイント解説の後、3つのグループに分かれてSWOT分析を約1時間行い、グループごとに鎌倉市の推進戦略を発表しました。採点の結果、鎌倉のブランド力を活かすとともに、子育て環境・ICT環境の強化した高級住宅化と、「あこがれのまち鎌倉」推進戦略を提案した「Rich City KAMAKURA」チームが、1位の栄冠を手に入れました。おめでとうございます！。

今年度、これまでに延べ60名以上の職員が<かまラボ>に参加してくださいました。10月以降、年度内に6回程度の開催を予定しています。今後も多くの方々の参加をお待ちしています。

【今後の予定】

第4回「鎌LAB. <かまラボ>」開催決定！

日時：平成25年10月25日（金）18時～20時

場所：第4分庁舎822会議室

講師：特定非営利活動法人 地域魅力 理事長 田中 美乃里さん

テーマ：タイトル未定

（ICTによる地域づくり、政策・施策推進へのICT活用手法等についてご講義いただく予定です。）

◆◆◆ その他 ◆◆◆

『Ice Break』・政策創造担当にご意見・ご要望等ありましたら下記までお願いします。

内線：2793

政策創造担当：souzo@city.kamakura.kanagawa.jp

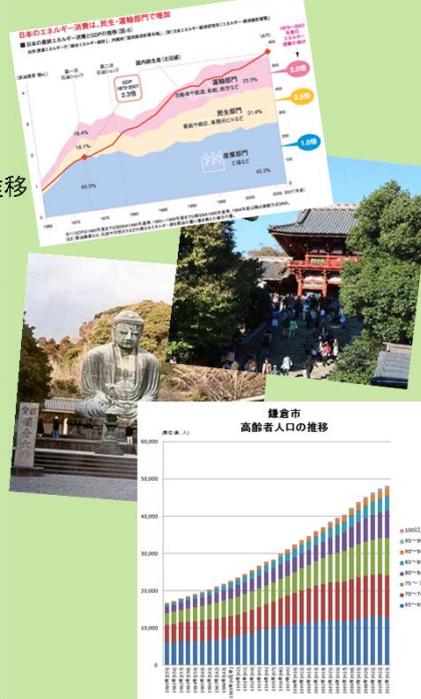
政策創造担当部長 比留間：ah016076@city.kamakura.kanagawa.jp

5-3 プラチナ構想スクール (発表資料)



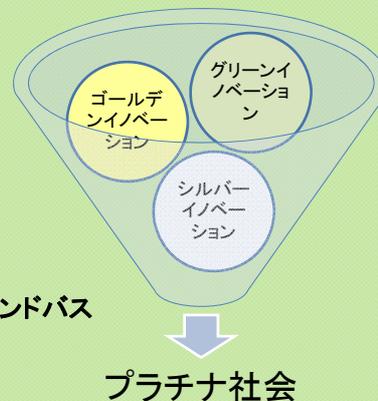
背景と目的

- 国内のエネルギー動向
 - 部門別エネルギー消費の動向
 - 家庭消費の倍増、産業部門の横ばいでの推移
- 高齢化の現状
 - 神奈川県内1位の高齢化率
 - 鎌倉市高齢化率28% (H23)
 - 特定地域における高齢化率の上昇
(高度経済成長期の住宅地32%~42%)
- 新たな地域特性の創出
 - 地域力の向上
 - 地域連携
- 循環型住宅地の整備
 - ユニバーサルデザイン
 - 世代間循環



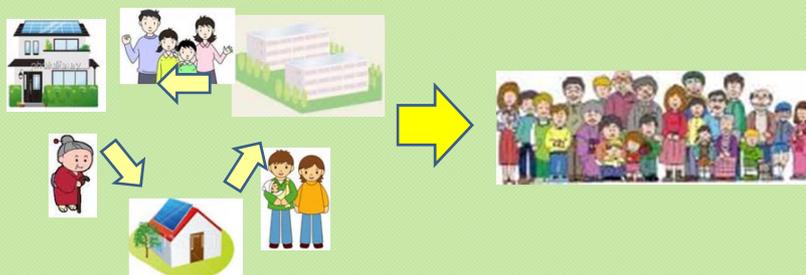
循環型住宅地計画

- グリーンイノベーションに向けた
地域内循環によるオープンシティ
- 既存住宅地の強化
- エコハウスの普及
- 情報通信業の誘致
- 地域力の再考
- 地域連携



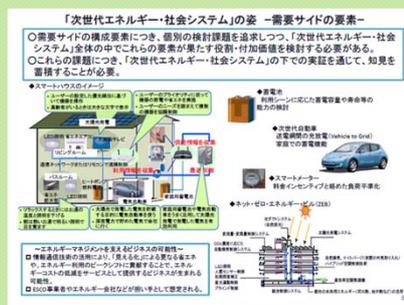
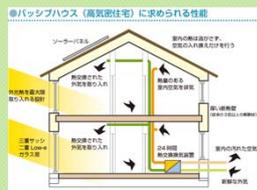
アウトプット

- 地域活性
若年ファミリー、子育て、高齢者世帯が地域内で住み替えていく
多世代交流の確立
- 地域にマッチした建物形態
エコハウス、エコ共同住宅
- 健康・生活レベルの向上
コミュニティ活動、住環境

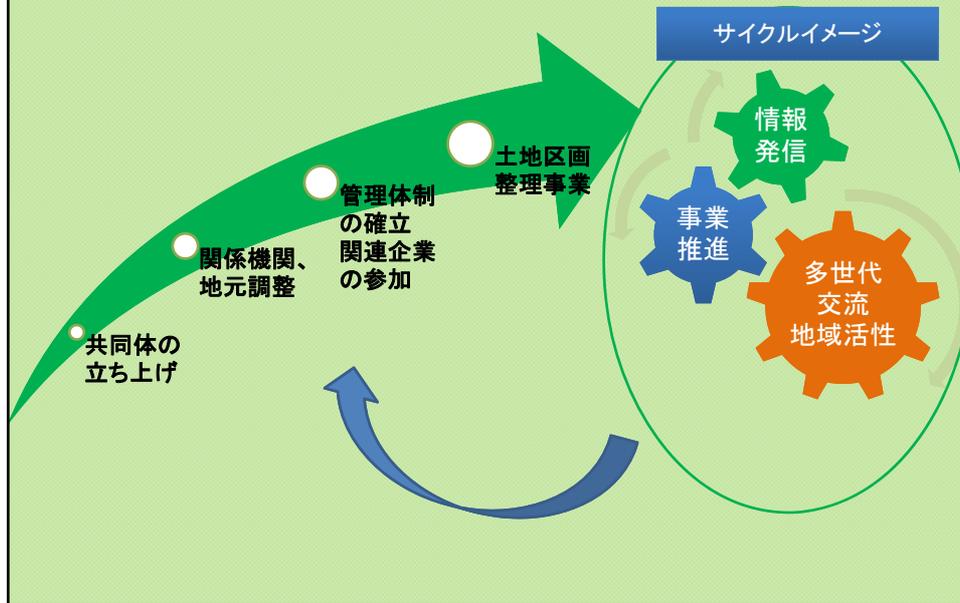


成功のための必要条件

- 目指す将来像を地域内の市民と共有
循環型住宅システムの理解
所有権の整理
- 関連企業との連携
- メディアの活用



マイルストーン



実施体制

- 地元自治会、NPO
- 関連企業
建設、通信、金融、医療、介護関係
- 行政

共同体(運営事務局)の設立



資金計画

- 既存補助金制度の活用
- 土地所有者個人の出資
- 土地区画整理事業
- 関連企業からの支援

平成 25 年度鎌倉市政策創造担当業務報告書

平成 26 年 6 月発行

鎌倉市政策創造担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467-23-3000 (代表)

FAX 0467-23-8700